

1 「脳舐ぬペロワスト姉妹のメス堕ち調教オーガズム」



- ①ペロリスト姉妹の策略：トランプ誘導
- ◇位置関係
- ・ヌル→左に囁く
 - ・グチュ→右に囁く
- 1 ペル
- 2 ヌル
- 3 ブラウザ
- 4 ブラウザ
- 5 ブラウザ
- 6 ブラウザ
- 7 ブラウザ
- 8 ブラウザ
- 9 ブラウザ
- 10 ブラウザ
- 11 ブラウザ
- 12 ブラウザ
- 13 ブラウザ
- 14 ブラウザ
- 15 ブラウザ
- 16 ブラウザ
- 17 ブラウザ
- 18 ブラウザ
- 19 ブラウザ
- 20 ブラウザ
- 21 ブラウザ
- 22 ブラウザ
- 23 ブラウザ
- 24 ブラウザ
- 25 ブラウザ
- 26 ブラウザ
- 27 ブラウザ
- 28 ブラウザ
- 29 ブラウザ
- 30 ブラウザ
- 31 ブラウザ
- 32 ブラウザ
- 33 ブラウザ
- 34 ブラウザ
- 35 ブラウザ
- 36 ブラウザ

- 1 グチユ
- 2 「なんか面白やうへしょ、難しく考える必要はないかんねー」
- 3
- 4 ヌル
- 5 「そ、難しく考える必要はないの。」
- 6 途中で疑問が湧いたり、意識が逸れても大丈夫。
- 7 また私たちの声や音に意識を戻してねOK、そのままボケーへむこトモ良こよ」
- 8
- 9 グチユ
- 10 「そそ、音や言葉に意識を集中せんと、君の脳内が休息モードに入らん」
- 11
- 12 ヌル
- 13 「うーん、例えねー。
- 14 心地良い音に意識を向け続けます。
- 15 そうすると聴覚の働きが強まって、他の部分は働きが弱まりまーす。
- 16 そのまま脳が休まつて、理性の働きも弱まるとー？」
- 17
- 18 グチユ
- 19 「そ、いわゆるトランス状態に入りまーす。
- 20 ま、トランス状態って言うとなんか特別に聞こえるけどね。
- 21 リラックスしながらイメージの世界に没頭している…そんな感じつーか。」
- 22
- 23 ヌル
- 24 「だから極端な話だけど、何をトリガーにしてもトランス状態には入れます、
- 25 音でも良いし、言葉でも良いし、何かをずっと見つめてもOKでーす」
- 26
- 27 グチユ
- 28 「目を使うやつだとー、視覚野の働きが強まって、他の部分が休まつてくみたい。
- 29 ま、そんなんじうじゅうやー」
- 30
- 31 ヌル
- 32 「そ、大事なのはその後の」とだからね。
- 33 その後つていうのはあー」
- 34
- 35 グチユ
- 36 「そりや暗示のしょ。暗示のためにわざわざトランスに入るんだからねー」

- 1 ヌル
2 「正解でーす。」
3 そうなの、トランスに入るとな、言葉を受け入れやすい状態になるの。
4 脳内から全身まで、休息モードに入ってるからね~」
5
6 グチュ
7 「疑問が湧いたり、やな」とが思い浮かびにくくなる。
8 そんで意識が途切れにくくなるの」
9
10 ヌル
11 「しかも、五感や身体感覚が敏感になつてーべ」
12
13 グチュ
14 「そのおかげで、言葉通りの体験をやめるようになる、みたいな感じ」
15
16 ヌル
17 「そうだね、言葉通りの体験…。
18 例えばメスにされたりい♡
19 触手でアナルを開発されたりい♡
20 お耳をおま○にされたりい♡
21 はあ…脳内の錯覚…オーガズムつてす ひどいなあ♡」
22
23 グチュ
24 「うわ、興奮し過ぎちゃくちゃになつてんじやん…」
25
26 ヌル
27 「はーい、それじゃあ説明は終わりでーす。
28 脳から全身まで開発しちゃうから、安心して女の子になつてね~」
29
30
31
32
33
34
35
36

- 1 ①異世界ティータイム
- 2 ヌル
- 3 「はい、まずは異世界ティータイムのお時間でーす」
- 4 「心と体を整えて、メス堕ちでさる状態に仕上げていいかー」
- 5 ヌル
- 6 グチュ
- 7 「心と体を整えて、メス堕ちでさる状態に仕上げていいかー」
- 8 ヌル
- 9 ヌル
- 10 「ほねふ、ほずはね香マシチから」
- 11 ヌル
- 12 グチュ
- 13 「1 本ずつ、蠅燭に付けてくよ」
- 14 ヌル
- 15 ヌル
- 16 「まづはあまーい香りがするやい」
- 17 ヌル
- 18 グチュ
- 19 「はい、ふしゅーーい」
- 20 ヌル
- 21 □マッシュを付ける
- 22 ヌル
- 23 ヌル
- 24 「くふくふ…うーん♡
- 25 「あまつたるケーキのよだな香り…くふくふくふく…すーーん♡」
- 26 ヌル
- 27 グチュ
- 28 「ゆつたり匂いを嗅ぐよーに…すーーーーん、ひばああ♡」
- 29 ヌル
- 30 ヌル
- 31 「あつたかくて落ち着く香り。
- 32 煙を吸うと、じわじわ穏やかな気持ちがやいじく
- 33 ヌル
- 34 グチュ
- 35 「へすつづつ、ひふーーーー」
- 36 ヌル

- | | | |
|----|---------------------|------------------------------------|
| 1 | ヌル | 「次は、甘いレモンのような香りのするマッチ」 |
| 2 | マッチを付ける | □マッチを付ける |
| 3 | | |
| 4 | | |
| 5 | グチュ | 「す――――――――、 いはあああ。 |
| 6 | | |
| 7 | 酸っぱいから、ちよっぴり甘さのある香り | 酸っぱいから、ちよっぴり甘さのある香り」 |
| 8 | | |
| 9 | ヌル | 「鼻から吸うと、ちよっぴり痺れるような、 |
| 10 | | |
| 11 | ジクジクしそうな香り | ジクジクしそうな香り」 |
| 12 | | |
| 13 | グチュ | 「鼻が慣れてくねく、あまい匂いだけがするような、そんな不思議な香り」 |
| 14 | | |
| 15 | ヌル | 「すううううう、んのはああ。 |
| 16 | | |
| 17 | なんか楽しくなってきた♪ | なんか楽しくなってきた♪ |
| 18 | | |
| 19 | | |
| 20 | グチュ | 「最後はアロマのような香りのするマッチ」 |
| 21 | | |
| 22 | □マッチを付ける | □マッチを付ける |
| 23 | | |
| 24 | ヌル | 「んのすうううう… いはああ。 |
| 25 | | |
| 26 | 鼻にツー→ふくね香り」 | 鼻にツー→ふくね香り」 |
| 27 | | |
| 28 | グチュ | 「いすうううう… いはああ。 |
| 29 | | |
| 30 | 一気に吸うと、刺激が強すぎる感じ」 | 一気に吸うと、刺激が強すぎる感じ」 |
| 31 | | |
| 32 | ヌル | 「ゆつたり吸うと、全身からぽねぼねーって、力が抜けてくねよくな香り」 |
| 33 | | |
| 34 | | |
| 35 | | |
| 36 | | |

- 1 グチユ
2 「ひひひひひひひひひひひひ... えうううう... めうめうめうめう... 全身を優しく包み込んでくれるような
3 香り」
4
5 ヌル
6 「はーーい、次は3つのマッチを一気に付けてしまー」
7 □カウントに合わせて、マッチを付ける
8
9 グチユ
10 「一本田」
11
12 ヌル
13 「一本田」
14
15 グチユ
16 「三本田」
17
18 ヌル
19 「甘い香り、酸っぱい香り、ツーンとした香りに包まれる」
20
21 グチユ
22 「3つが合わせて、不思議な香りが漂って〜〜」
23
24 ヌル
25 「ゆったりと煙を吸ってー... ひやーひーひーひー... んううう」
26
27 グチユ
28 「吐こーー... ひのはあああああ」
29
30 ヌル
31 「はい、蠅燭を全部消しまーす
32 首を左に向けて、照こへやり奥を吐かせー。
33 ひすうううう... ひひひひひひ」
34
35
36

- | | | |
|----|-----|------------------------|
| 1 | グチヨ | 「へやーへへへ… へへへへへへへへ。 |
| 2 | | 首を右に向けて、思へへめり息を吐き出す |
| 3 | | へすつつつ… へへへへへへ |
| 4 | | 」 |
| 5 | | □沸騰するよくな音が聞こえ「せりせり」 |
| 6 | | （鍊金釜みたいな） |
| 7 | | 「沸騰するよくな音が聞こえ「せりせり」」 |
| 8 | | （鍊金釜みたいな） |
| 9 | ヌル | 「んー？ なんか聞こへへへね」 |
| 10 | | 「べーべーのお時間です」 |
| 11 | | 14 |
| 12 | グチヨ | 「せりせり、せりせり、沸騰してね…」 |
| 13 | | 17 |
| 14 | | 18 |
| 15 | ヌル | 「へへへへへへへへ」 |
| 16 | | 19 |
| 17 | | 「へへへへへへへへ」 |
| 18 | グチヨ | □鳥が当たへへへへへへへへ |
| 19 | | 20 |
| 20 | | 21 |
| 21 | | 22 |
| 22 | ヌル | 「せん、べーべーの香りが漂ってへへへ」 |
| 23 | | 24 |
| 24 | | 25 |
| 25 | グチヨ | 「すーーーん、へはああ。 |
| 26 | | 27 |
| 27 | | 鎮静作用のぬれら |
| 28 | | 29 |
| 29 | ヌル | 「すうううう… へはあああ。 |
| 30 | | 31 |
| 31 | | 飲んだらよつと甘いけど、いつも落ち着く香り |
| 32 | | 33 |
| 33 | グチヨ | 「鼻の奥にスッキリした感じが残る、みたいな」 |
| 34 | | 35 |
| 35 | | 36 |

- 1 ヌル
- 2 「ほへ、カシブに迷こドヘバ一」
- 3 ロボシトを注ぐ音
- 4 ローネーにボシトを置く
- 5
- 6 グチユ
- 7 「へへへへへへへへ... いはああ」
- 8
- 9 ヌル
- 10 「チャチャハハハハ... んハハハ... はあ♡」
- 11 「喉の奥がスシキリする味」
- 12
- 13 グチユ
- 14 「ぱかぱか一ひで、体があつたまひでくわ」
- 15
- 16 ヌル
- 17 「チャチャハハハ... ハハ... ハハ... いはあ」
- 18
- 19 グチユ
- 20 「チャチャハハハ... ハハ... ハハ... いはあ」
- 21
- 22 □少し間(5秒くら)
- 23
- 24 ヌル
- 25 「はーー、それじゃあ次はあ、ホシトローンヨンを使ったマシサークル」
- 26
- 27 グチユ
- 28 「♪の蜂蜜ローンヨンドゥ...」
- 29
- 30 ヌル
- 31 「両耳をぐわぐわターハーひ、マシサークルハハ... かあ♡」
- 32
- 33 □(両耳)ローンヨン開けで、ちょいと広げる
- 34
- 35 グチユ
- 36 「えのねーい音を立ててん♪」

- 1 ヌル
2 「も～と激しくいやらしさの音、聞きたいかな」
3
4 ヌル
5 「んううう…はあ…ほーら、ぐわふぐわふ感がちょいとだけ、強まつていぐ」
6
7 グチュ
8 「ぬるぬるしたものが全身に入つてくるかのように、ぐわやぐわや侵されぬ」
9
10 ヌル
11 「ああ…だめ、溶かされちゃう…お耳が溶かされちゃうみたい…ぐわふぐわふぐわふ
12 ゆ」
13
14 グチュ
15 「んああ…だめえ…お耳ぐわやぐわやだめえ…くわくわ。
16 お股までズキズキ疼いたやうやう」
17
18 ヌル
19 「ジクジク、甘くて淫らな快感が、お耳を刺激していくの」
20
21 グチュ
22 「あ、だめ…んはあ…お股の内側に、ジクジク快感が溜まつてあちやいわ」
23
24 ヌル
25 「ほら…んはあ…とろけるようなメスの性感が、じゅわじゅわーって弾けてきちゃう」
26
27 グチュ
28 「甘い痺れにジクジク追いやられる」
29
30 ヌル
31 「ほら、想像してみて、お耳をぐわやぐわやにされ…はしたなく喘いじやうメスの姿
32 。
33 あ、あ、あ、んううう…」
34
35 グチュ
36 「喜んで淫らな表情を浮かべる、やわらかくスケベな女」

- 1 ヌル
2 「メス穴を責められて、はしたない顔で下品に喘ぎ狂うメスの姿」
3
4 グチュ
5 「ねえ、誰のいるか分かってねよね…くわくわ」
6
7 ヌル
8 「そう、君はメスの性感を知っている。
9 体の中で眠っている女の快感」
10
11 グチュ
12 「メスに墮ちていく快樂を知っている。
13 「これから、それを呼び覚ましてくだけ…」
14
15 ヌル
16 「ただただ、メスの快樂に身を包まれるだけ…ほおひ、ぐわやぐわやに…く
17 すぐす」
18
19 ヌル
20 「くっかりと張り付くぬめぬめ音が、お耳の中に入り込み…ぐわやぐわやに侵してく」
21
22 グチュ
23 「メスの快感が染み付いてくね。
24 「あ、あ、あ…んうう…シハシハシハシハシ…」
25
26 ヌル
27 「じゅわーーー、とろけるような快樂がお股を侵してくよくな、そんな気持ちよさ。
28 んうう…ハハハ…はああ…」
29
30 グチュ
31 「お耳をぐわやぐわやに搔き回され、あまい痺れが膨らんじゃわ」
32
33 ヌル
34 「ハハハ…両耳をぐわやぐわやに搔き回され、覚えておいてね…」
35
36

- 1 グチユ
- 2 「メス堕ちのイメージ」。
- 3 それを意識する練習、みたいな感じかなー」
- 4
- 5 □少し間(5秒くらい)
- 6
- 7 ヌル
- 8 「はーい、それじゃあ次はあ…顔全体に浸してー」のか
- 9
- 10 □ローン開ける音「カチッ」
- 11 □ローンヨンぐちやぐちや音
- 12
- 13 グチユ
- 14 「わ、やらしい音が響いてんね♪
- 15 女の子がおまんこくわくわくめしてる音みたい」
- 16
- 17 ヌル
- 18 「大切なのは言葉から連想してー」
- 19 女の子になって、おまんこじめられてるイメージでもOK
- 20
- 21 グチユ
- 22 「言葉から何を連想するかは君の自由。
- 23 少しずつ、メスの性感をイメージしてー」
- 24
- 25 ヌル
- 26 「はい、それじゃあ全身をスキヤンしてー」
- 27 顔周りの緊張をほぐそつか
- 28
- 29 グチユ
- 30 「顔周りは緊張しがちだかんね。
- 31 丁寧にやつてよー」
- 32
- 33 ヌル
- 34 「ふふ…はーい、準備完了♪
- 35 顔中をマッサージしていくから、触れた部分に意識を向けてみて
- 36

- 1 グチユ
2 「女の子になつたらどんな感触なんぢろうなーって、想像してみよつか。」
3
4 ヌル
5 「ほら、すゞのアームchairの香りが漂つてゐる…。」
6 女の子が好きそうな匂いだね。」
7 グチユ
8 「なんかエッチな気持ちになつてくるかも。」
9
10 ヌル
11 「この蜂蜜ローション、媚薬効果もあるの。」
12 ほら、甘ーい香りが鼻から全身を駆け巡つていぐ。
13 お股の内側がジンジンしてくるかも…」
14
15 ロリロリかのローションマッサージ音
16
17 グチユ
18 「しようともまずはいい…ねでいい意識を向けていいのか。
19 力は入つてるかな? 入つてないかな?」
20
21 ヌル
22 「んはあ…んううう…しょ…ゆつくり力を入れてみようね」
23
24 グチユ
25 「んううううしょ…はああ…んうう…ゆつくり力を抜いてみよつか」
26
27 ヌル
28 「ふふ…無理にリラックスしようとしなくとも大丈夫だからね。」
29 (一時的に正面近距離(上側)→キスのみ)
30 ん…つわゆう…えれれ、えれれれれれれ。」
31
32 グチユ
33 「わ、いきなりおでこにキス責めかあ。」
34 「えつてのね。」
35
36

- 1 ヌル
2 「おドリにキスされるの、女の子はずっとうまく弱いんだよね。
3 ふふ、君も意外と敏感だつたりして~」
4
5 ヌル
6 「あとはねー、緊張してると眉間に力が入つてたりするかも。
7 もし力んでる感じがあつたら、ゆっくり力を入れて、ゆっくり抜いてね」
8
9 グチュ
10 「ま、必ずしもやらなきやいけない誤じやないの~か。
11 言われた通りやるかどいかは、君が決める」とだかのや」
12
13 ヌル
14 「うんうん…リラックスしてるとか、気持ちよくなつてるとか、私たちが決めつける」とじ
15 やないの」
16
17 グチュ
18 「かもしれない…絶対にそつとは限らない…すべて鵜呑みにせず、自分のペースを大事にし
19 てみて」
20
21 ヌル
22 「んううう…しょ…んうう…の~」
23
24 グチュ
25 「あ~」のラインから首筋に沿つて~。
26 んしょ…ゆつくりと指先でなぞつて~。
27 首筋をなぞりながら~」
28
29 グチュ
30 「くすくす、媚薬効果も含わされて、目がとろーんつてなつてきてないかあ~」
31
32 ヌル
33 「はーい、呼吸は整つてきたかな。
34 カウントダウンが終わつたら、呼吸を自然なペースに戻そつか」
35
36

- 1 ヌル/グチユ
- 2 「3.....2.....1.....0」
- 3
- 4 グチユ
- 5 「ぜふ、ぜふ、ぜふー、べべべべ」
- 6
- 7 ヌル
- 8 「それじやあ、全身の感覚をもつた女子に馴染ませてこきあーす」
- 9
- 10 グチユ
- 11 「次はローンショノを使って、マイク♪」ハーフやおつかあ♡」
- 12
- 13 ヌル
- 14 「実際にマイクをする詰じやないけど、女子になるイメージを浸透させてくの」
- 15
- 16 グチユ
- 17 「恥ずかしがらなくていいかんねー」
- 18
- 19 ヌル
- 20 「そ、女子になるって書いても、無理やり女装させたりしないから安心して」
- 21
- 22 グチユ
- 23 「これはマイク」ついだから、安心してね」
- 24
- 25 ヌル
- 26 「はーい、やのやく誠しややおつかあ♡
- 27 下地を塗つけてみた感じ、ほんとに小さな田を描いてえ...」
- 28
- 29 グチユ
- 30 「べくねぐねーー。
- 31 「こんな感じで、肌に薄ーく伸ばしてー」
- 32
- 33 ヌル
- 34 「色のむらや全体の不自然さをなくすために、下地になるクリームが必要なの」
- 35
- 36

- 1 グチュ
2 「ほんのちょっとでも塗っておけば、肌全体に自然な感じが出てくねよ。」
3
4 ヌル
5 「ふう…」はー、」のまかロハーラーを塗ってみる」
6
7 グチュ
8 「田のトにあるクマ、わよいとしたリキド、口角のシワ…女の子が見られたくない部分を
9 隠しかやえ」
10
11 ヌル
12 「ん…しょ…め…く…、薄…く描…」
13 肌色に近いロハーラーで補正すると、女の子の顔が整ってくねの」
14
15 グチュ
16 「んうう…しょ…ふふ…んはあ…。
17 クマを隠す時は、特に薄く塗るのが大切かなあ。
18 皮膚が薄いから、つけすぎると違和感が出ちゃう」
19
20 ヌル
21 「んうう…しょ…うん、」んな感じかな。
22 はい、それじゃあ次はリキッドファンデーション」
23
24 グチュ
25 「少し影を作つて、ツヤが出てるやうにやるの」
26
27 ヌル
28 「ブラシでポンポンポン…」で、軽くファンデーションを付けてえ。
29 「うう…」はあ…」
30
31 グチュ
32 「ほのくの下から、斜め上にショーハショーハで滑らせてみる。」
33 肌に優しく滑れる感じかな」
34
35 ヌル
36 「顔にほじまく凹凸が出て、わーっと女子っぽくなっちゃ」

- 1 グチュ
2 「乙女の肌に艶がでるやうの」
3
4 ヌル
5 「んううう…しょ…よー」、くすくす。
6 いのああウイッグを付けてえ、前髪にクリップをつけてえ…」
7
8 グチュ
9 「んうしょ…いと…んうう…」
10 ヌル
11
12 「わよいとだけ口紅も塗っておいて…しゅいしゅ…いん」
13
14 グチュ
15 「んう…しょい。」
16 「はーい、ナチュラルメイクの完成でーす」
17
18 ヌル
19 「つけまつげ、カラコンなしの自然なメイク、男の子でも抵抗がない感じのやつ」
20
21 グチュ
22 「くすくす、ああ、可愛いー♡
23 ふふ、なんか照れちゃうよね♡」
24
25 ヌル
26 「くすくす、どうだったかな。」
27 「女の子になつちゃう背徳感、味わえたかなー?」
28
29 グチュ
30 「それじゃ、準備完了ついで」
31
32 ヌル
33 「今からメス堕ち調教、はじめまーす。」
34
35
36

1 グチュ
2 「乳首・お耳・お尻...」の二か所を調教すると、女の子ん同じような快感になつてくかんね
3 ~
4 ~
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36

- 1 グチュ
2 「おちんぽの奥も気持ち良くなつてえ♡」
3
4 ヌル
5 「その内側にあるメスおまんこ性感、そりがジクジクあつたまつてくぬ感じ♡」
6
7 グチュ
8 「そりはえつろーい痺れが溜まつてきてえ...
9 あ、あ、あ、だめ...じへんく止まらなーの...メスイキキモヤうよお...ひへー。」
10
11 ヌル
12 「くす、場所はイメージできたかなあ？」
13
14 グチュ
15 「うーん、最初はちよつと分かりにくいかも」
16
17 ヌル
18 「えつとね、自転車に乗った時に当たる部分...その内側にメスイキ性感があるの♡」
19
20 グチュ
21 「まずはおちんぽ、次におちんぽの奥、最後はさりに深こいりの...そりがジンジンしていく
22 る感じだよー。」
23
24 ヌル
25 「まぢはー」の流れをイメージしてみてね♡」
26
27 グチュ
28 「それじやあ、人差し指と親指の爪を合わせてー」
29
30 ヌル
31 「軽ーく力を入れた状態でえ...上下に擦られぬと...お、お、おーいト品な声が漏れちやう
32 かもー」
33
34 グチュ
35 「乳首の汗腺が敏感な子だと、変な声出ちやうやつ。」
36

- 1 ヌル
- 2 「でも、最初は無理に感じよつとしなくて大丈夫」
- 3
- 4 グチュ
- 5 「まずは軽イキから…ちよつとお尻がビクツですぬくわいを目指そうね」
- 6
- 7 ヌル
- 8 「ふふ…かり、かり、かり、かり、かり、かり、かり、かり、かり」
- 9
- 10 グチュ
- 11 「かり、かり、かり、かり、かり、かり、かり…あ、あ、あ、んうう…ふふ」
- 12
- 13 ヌル
- 14 「くすくす…」
- 15 耳元で囁きながらの乳首責め…ねちいいくて癖になっちゃいそうだよね」
- 16
- 17 グチュ
- 18 「ふふ、なんかじれつたいかもね♪」
- 19
- 20 ヌル/グチュ
- 21 「んのふふ…んはあ…かりかり、かりかり、かりかり、かりかり」
- 22
- 23 ヌル
- 24 「んはあああ…ふふ、んうううう、あーーん♡」
- 25 「くすくす…かりかりかりかり、かりかりかりかり」
- 26
- 27 グチュ
- 28 「んはあ…かりかりかり、かりかりかりかり」
- 29
- 30 ヌル
- 31 「かーーりかり、かーーりかり…ふふ…」
- 32 急に乳首をいじる速度を落としたり♡」
- 33
- 34 グチュ
- 35 「んはあ、爪と爪を合わせたまま、かーーりかり、かーーりかり。
- 36 「あ、あ、あ、あーーん♡」

- 1 グチユ
2 「まるで女の子がクリ責めされてるみたいな快感♡
3 ジクジク、ジクジクって、甘ーいメスの快感が流れ落ちてきちゃう♡」
4
5 ヌル
6 「おちんぽの奥底にある、おまんこみたいな性感帯。
7 メス墮ち専用のえつろーい場所♡」
8
9 グチユ
10 「そりた快感のゲージが溜まつてくぬ。
11 えつらーい快感が溜まつてくの」
12
13 ヌル
14 「んはあああ…お、お、お。へふふ。
15 それじやあ次はあ、人差し指だけで下から上に引つかく乳首責めでーす♪」
16
17 グチユ
18 「親指を胸の上部に当てて、人差し指で下乳を…かり…かり…かり…かり…あ、あ、んは
19 ああ…くすくす」
20
21 ヌル
22 「かりかり、かりかり、かりかり、かりかり…かりかり、かりかり、かりかり、かりかり
23 …。
24
25 グチユ
26 「かりかりかりかり…かりかりかりかり…
27 かーりかりかーりかり
28
29 ヌル/グチユ
30 「くすくす…せーの、かりかりかりかりかりかりかりかりかりかりかりかり
31 かりかりかりかりかりかりかり…。
32 かりかりかりかりかーーーんうう♡」
33
34 グチユ
35 「あん、あん、あん、あああん♡」
36

- 1 ヌル
2 「ふふ、どうだつたあ？体の感覚を感じてみやえ。」
3
4 グチュ
5 「ふくふくと膨らんだ乳首…股の内側からくるゾクゾクした感じ…くすぐす。
6 どうかな？」
7 少しづつ女の子になってしまった実感、湧いてきたかも。」
8
9 ヌル
10 「ほふ、女の子になつて乳首責めされたら、どんな声が漏れちゃうのかな。
11 やらしくてスケベなメス声、本性全開のお下品アクメ、どんな感じなんだろ。」
12
13 グチュ
14 「女の子になつたらねー、お股の内側から子宮に向けて、ザキゅん、ザキゅ、ザキゅ
15 ん、ヒト、エッチな電流が走つてくんの。」
16
17 ヌル
18 「んうう…きなり乳首いじるのはつんああ…。
19 カリカリされるの、弱い…です…んううう…はあ…おお…弱いからあ♡やめてください
20 あん…。」
21
22 グチュ
23 「んあああ…よわいですからあ…んうう…んはあああ…んつぶつ、ほおね…。
24 だめだめだめ…乳首に気持ちいの溜まつてくんよね…ひふ。」
25
26 ヌル
27 「お股ジクジクしてくねよね…。
28 んぐう、あん…ああ、きなりカリカリされるの弱いもん…やめて…ほんとにそ、弱点
29 だからあ…んうう…のほおお…ダメダメダメ…ひふ。」
30
31 グチュ
32 「どんどんメスを自覚せられて、呪律が回らないほんの…快感が溜まつてくの。」
33
34
35
36

- 1 ヌル
2 「ふふ…ほんんの女の子は乳首が弱い。
3 でも、ゆっくり丁寧に、どんどん勢いをつけていくのが大事なの。
4 もつと丁寧に、乳輪をじっくり回して、乳首の上側を抑えながら下乳からゆっくりカリ
5 、カリ、カリ…って動かしたり」
6
7 グチュ
8 「爪と爪を挟んで、乳首の先端だけをぐりぐりぐり…優しく焦らしたり」
9
10 ヌル
11 「爪を合わせながら横方向にカリカリカリカリ…高速で動かして軽イキまで追い込んだり…
12 そうやつて緩急をつけてくの」
13
14 ヌル
15 「思ひきり引つねつたり引つかく追い込みは、快感が溜まりきつてから…
16 最後に溜まりきつた快感を開放して、いぐいぐいぐーんにおおおお…つて…
17 ゆつたりキメでくの♪」
18
19 グチュ
20 「乳首に強い快感を求めるのはナンセンス。
21 弱い快感が、お股の内側に流れ込むのを感じ取つて、軽い絶頂をキメてくの。
22
23 ヌル
24 「乳首で感じるコラッは、焦らずに快感を受け止め、強い快感を追わない」
25 弱い快感を徐々に高めていく、それを何度も繰り返すことで軽イキ絶頂をキメる」
26
27 グチュ
28 「その快感に耐え抜けば耐え抜くほど、お股の内側からビクビクつて、軽いオーガズムを
29 迎えの。」
30
31 ヌル
32 「ね、女の子の気持ち、分かつてきたかも。」
33
34 グチュ
35 「ね、女の子の快感、分かつてきたかも。」
36

- 1 ヌル
2 「君は心身ともに、メスに染まつていい。
3 メスに堕ちていい」
- 4
- 5 グチ ュ
6 「次はお尻もお耳も、メスの快感になつていいくの。
7 女の子のように感じられるようになるの」
- 8
- 9 ヌル
10 「じわじわ前立腺に快感が溜まつていい」
- 11
- 12 グチ ュ
13 「焦るやれてるみたいで気持ちいい。
14 早々の快感を開放した」と…」
- 15
- 16 ヌル
17 「やーわー、まだまだこれからなの」
- 18
- 19 グチ ュ
20 「メス堕ち調教は始まつたばかりだかんねー」
- 21
- 22
- 23
- 24
- 25
- 26
- 27
- 28
- 29
- 30
- 31
- 32
- 33
- 34
- 35
- 36

- 1 ③耳バイブ
- 2 ヌル
- 3 「それじゃあ次は、耳まん」バイブのお時間でーす♪
- 4 「耳まん」の入口にあるくぼみ…女の子のクリを責めてくかんね♪
- 5 グチュ
- 6 グチュ
- 7 「耳まん」の入口にあるくぼみ…女の子のクリを責めてくかんね♪
- 8 ヌル
- 9 ヌル
- 10 「耳まん」にバイブ当たるれると、メスになつちやう背徳感で興奮しちゃうかも♪
- 11 ヌル
- 12 グチュ
- 13 「焦らされて焦らされて、ゾクゾクした快感が耳の中に溜まつて〜」
- 14 ヌル
- 15 ヌル
- 16 「お耳の中かお尻の内側、どつちかに意識を向けてみよつかあ♪
- 17 ジクジク、ジクジクつて、ゾクゾクした快感が流れ込んでぐぬかも♪
- 18 ヌル
- 19 □耳にバイブを当てる(耳に当たり離したりを繰り返す)
- 20 ヌル
- 21 グチュ
- 22 「ほひ、まぢは耳の外側からくすぐるもつじ…
- 23 んしゃ…あん…あん、あん、あん、あーん♪
- 24 ヌル
- 25 ヌル
- 26 「ほひ、女の子の弱点…クリの先端にギリギリ触れてくよ。
- 27 くすぐり…ふんふん音が鳴つてゐね。
- 28 くすぐつたいかな?それともゾクゾクするかな?」
- 29 ヌル
- 30 グチュ
- 31 「くすぐり…お耳に当たつたり、離したり、これを繰り返して焦らして」のか
- 32 ヌル
- 33 ヌル
- 34 「ほひ…んふふ、女の子がバイブでクリ責めされてるの♪
- 35 ん…んはああ…しゅつば」によ…クリにジクジク溜まつてくふう…んはああ…」
- 36 ヌル

- 1 グチュ
2 「やばい、やばいよお…気持ちよお…えつはあああん…ハーハー。」
3
4 ヌル
5 「ん、ん、ん、んー♡クリ責めでお股の内側がずきゅん…ずきゅん…」
6 お耳から前立腺に向けて、ぐんぐん快感が溜まつてくぬの。」
7
8 グチュ
9 「んへぐうつ…んのはあ…おお…すへー…おおへー!ジクジクくる…焦らすのダメえ…ダメだ」
10 よお…いぐつ…いれしゃきい…んのはあ♡」
11
12 ヌル
13 「、」んな感覚、初めてかも。」
14 お耳からお股の内側まで、ジクジク温まつてくぬの」
15
16 グチュ
17 「だめ、だめなの…もう我慢できないよお…んはあ…お耳まんに挿れてほしいよお…シ、」
18 ジン止まらなよお…んはああ。」
19
20 ヌル
21 「はやく挿れてほしいよお…お耳まんにぐちゅぐちゅ濡れできてるよお…」
22 耳バイブ挿れられて、はしたないお下劣アクメきめたいよお…。」
23
24 グチュ
25 「はーー、お耳まんに焦らすの、そろそろやめてあげよつがー。」
26 ほねー、思いの通り奥まで突っ込んであげるかんねー」
27
28 □バイブを耳の内側に当たられていい
29
30 ヌル
31 「ほー、お耳まんの入り口…クリの裏側まで当たつてくよお…耳まんに壊れちやいそう。」
32
33 グチュ
34 「んへぐうつ…入つてきちゃあ…くすくす。」
35 お耳まん、奥まで振動してる。」
36 よわあい…いじめられてるみたいだねー。」

- 1 ヌル
2 「へへへへへ…耳まんい」の童貞、卒業でーす。
3 んへへうう…中の刺激、初めてだからやへば…。
4 ほら、耳の形に沿つて弱点を探してくじね…くす、いの辺りが弱いの?
5
6 グチュ
7 「鼓膜の少し手前、リリード止めるようにするわ。
8 くす、ギリギリ奥まで届かないから、すへりへじねつたいやねえ。」
9
10 ヌル
11 「今、君、女の子みたいで可愛いなあ。」
12 みたいっていうより、もう心は女の子と同じ…だからメスなの…。
13 耳バイブで感じちゃうメスなの。」
14
15 グチュ
16 「そ、あんたの心は女の子。
17 だつて、乳首でも両耳でも、じへじへ感じられぬもんね。
18 その快感がお股の内側…前立腺に溜まつてくね。」
19
20 ヌル
21 「メスの快感ゲージが溜まつてくね。
22 ジヘジヘ…ジヘジヘ。
23 ザキゅん、ザキゅん…お股がじんじん疼いてくね。
24 でも、まだメス堕ちまでは遠いの。」
25
26 グチュ
27 「女の子に、メスの快感を誘導される。
28 じわじわ…じわじわ。
29 キゅん…きゅん…前立腺が疼いてくね。
30 でも、メス堕ちはこれからなの」
31
32 ヌル
33 「はーい、リリード耳バイブ止めまーす。」
34
35
36

- 1 ⑤触手パート(耳)
- 2 ヌル
- 3 「くすくす…ねえねえ、そろそろお耳まんじに挿れてほしいかなー?」
- 4 「くすくす…ねえねえ、そろそろお耳まんじに挿れてほしいかなー?」
- 5 グチュ
- 6 グチュ 「何をー?」
- 7 グチュ
- 8 グチュ
- 9 ヌル
- 10 「細くてなつがーいもの。」
- 11 「奥に入れると気持ちよくてえ、引っ掛けかねるジワジワ気持ちこやつ。」
- 12 グチュ
- 13 グチュ
- 14 「くすくす、なんだろね?」
- 15 「お耳やお尻に入つても痛くない。」
- 16 「出たり入つたりするたびに、気持ちこやつを笑いでくるモノ。」
- 17 グチュ
- 18 ヌル
- 19 「はーい、触手のテンタくん、生物兵器でーす。」
- 20 グチュ
- 21 グチュ
- 22 「テンタくんはあ、プロリリスト姉妹が作ったメスイキ用の触手兵器」
- 23 グチュ
- 24 ヌル
- 25 「ーの子はねー、尻尾についてる触手を伸ばして、耳穴や前立腺を開発してーの。」
- 26 グチュ
- 27 グチュ
- 28 「くすくす…じんじんメスを自覚させられてーよ。」
- 29 「耳奥のよわーいところをぐにゅぐにゅしたり…お尻の奥まで入つたり。」
- 30 グチュ
- 31 ヌル
- 32 「くすくす…ねえねえ、そろそろお耳まんじに挿れてほしいかなー?」
- 33 グチュ
- 34 グチュ
- 35 「早く動かす時は、君の弱いところを的確にコノコノしまくってえ…」
- 36 グチュ

- 1 ヌル
2 「んああ…」ゅきじゅくって、声漏れちやうかもね♡」
3
4 グチュ
5 「くすくす、ほねり、触手が耳元まで這い寄ってきた♡」
6
7 ヌル
8 「ほねり…ぐにゅ、ぐにゅって、入ってくよお♡」
9 テンタくん「んにちはー♡」
10 ん、ん、ん、んー♡」
11
12 グチュ
13 「はあい、両耳を侵されちやーまーす♡」
14 ん、ん、ん、んー♡」
15 □耳の中に挿入する音「ちゅゅ」
16
17 ヌル
18 「んあああ…入ってきたあ…お耳まん」入ってきたあ♡」
19
20 グチュ
21 「でも全然痛くない…柔らかくて気持ちい…お耳の奥まで入ってく♡」
22 □耳奥まで入ってくる音「ぬふううう…ぐにゅううう」
23
24 ヌル
25 「あ…すっ♪…おね…入ってきた入つてきた…奥まで入つてきたあ♡」
26
27 グチュ
28 「あ、あ、あ…んね…す」…柔らかくて気持ちい…くすくす…女の子がおちんぽ入れられる
29 感覚、分かってきたかも♡」
30
31 ヌル
32 「」のまま出し入れされちやつたら…ん、ん、ん、あーーーん♡」
33 女の子が絶頂まで導かれる感覚…分かってくらがも♡」
34
35 □触手を出し入れする音(ゅーべり)
36

- 1 グチュ
2 「んへぐくつゝつゝへあああん♡…すへ♪」、おまんこちゅぱかちゅぱかれてるつ♡
3 奥まで出たり入りたり…あん、あん、あん、あん、あーーーん♡」
4
5 ヌル
6 「ああ、」のままゆへぐり耳まん、侵されちゃう…。
7 むちゅ、むちゅ、むちゅ、むちゅ…お、お、お、お♡」
8
9 グチュ
10 「んはあ…快感溜まつてきた溜まつてきた…耳まん、侵されるのしゅきい…お、お、お、お
11 ーーん♡」
12
13 ヌル
14 「耳元淫語で煽られながらあ♡じゅじゅお下品な耳まん、セックス♡
15 ぬぽぬぽお耳まん、レイプ、気持ちいねえ♡」
16
17 グチュ
18 「くすぐす、君の弱点を把握しちゃつたみたい♡」
19
20 ヌル
21 「お耳まん、の奥…鼓膜の手前辺りを触手でぬふぬふされる」とお♡」
22
23 グチュ
24 「へへんはああ…おお…ほら、きたきたきた♡
25 お尻の内側までジクジクきゅやしそう♡」
26
27 ヌル
28 「乳首と同じだね…お耳からの快感が前立腺へと繋がりそう♡」
29
30 グチュ
31 「あ、すゞ…お耳が湿ってぐちゅぐちゅやらしい音が響いてる♡」
32
33 ヌル
34 「触手から出でくる分泌液…えいりーい液体で性感が刺激されちゃうの♡」
35
36

- 1 グチユ
2 「ちゅぱちゅぱって媚薬を注入がれて、お尻の中にジクジク溜まつたがやう」
3
4 ヌル
5 「んはああ…ぬばぬばされるのしゅきい♡」
6 「おちんぽビクビクしちゃうよお♡」
7
8 グチユ
9 「ん―――っはああ。
10 「おちんぽの奥がズキズキ疼いちやうよお♡」
11
12 ヌル
13 「おちんちんから射精できないのに…お尻の中からびくびくして、空イキしちゃいそな
14 快感♡」
15
16 グチユ
17 「あ、油断したら出ちゃう、出ちゃうよお…くすぐす」
18
19 ヌル
20 「でもお、ビクビクするだけで何も出でへないの♡」
21
22 グチユ
23 「君の心はメスに近づいていく。
24 「だからね、男の子として感じないといけない…おちんぽから射精しないと絶対に気持ち
25 よくなれないと…」
26
27 ヌル
28 「もちろん、おちんちんシロシロしてえ♡思いつきりびゅうびゅうしゃうてもいいからね
29 ♡
30 「でもお…もし君が女の子として感じたい…女の子みたいな性感を感じたい…メス堕ち調
31 教されたいならあ…おちんちんを意識する必要はないかも」
32
33 グチユ
34 「そ、乳首やお尻で気持ちよくなるには…女の子として感じる…受け身で感じよつか…」
35
36

- 1 ヌル
2 「あん♡あん♡あーん♡って喘いだり、皿をぐるーんってせせながら腰をがくがくせせち
3 ゃうの」
4
5 グチュ
6 「男のしゃれとか、こわあいぐさくて考ふを捨てて、女の子になりきつちやうの」
7
8 ヌル
9 「うんうん…男の子としてのあなたも、メスとしてのあなたも素敵。」
10 それには、メス随時に達すると、自分の性別が分からなくなるほど気持ちいいんだよ♡」
11
12 グチュ
13 「あ…触手ちやんに侵されてるよね…わうだめ…お耳をおまんこにやれ…ああ…だめだめ
14 だめ、いぐいぐいぐ…んおおおお…って♡」
15
16 ヌル
17 「ほら、君をメスにしたくて両耳に張り付いてきた♡
18 あーあ、もう逃げられないかも♡」
19
20 グチュ
21 「触手で全身侵されて…メスの性感帯にされちゃうかも♡」
22
23 ヌル
24 「んはああ…ほら…テンタくん頑張れー♡
25 お耳をぎゅぎゅに抱擁されたまま…触手で出し入れ…んああっすっぱりよお♡」
26
27 グチュ
28 「くすくす…」の触手兵器…興奮すると虹色の液体を大量射精しちゃうの…」
29
30 ヌル
31 「わいわい話つたでしょ
32 女の子みたいな性感をイメージするのが大事って♡」
33
34 グチュ
35 「あん、だめえ…だめだよお…おまんこに射精されちゃう…中はだめえ♡
36 ん、ん、ん、ん——♡」

- 1 ヌル

2 「ん〜ぐうう…媚薬ザーメン流し込まれちやう♡

3 このままだとお耳まんこ妊娠しちやうよお♡

4 でも気持ちいから止めないでえ♡」

5

6 グチュ

7 「くすくす…止めないみたいだねえ。

8 あんたのお耳まんこ、気に入っちゃったみたい♡」

9

10 □触手が耳奥で動き回る音(ぬちゅ…ぐちゅ…)

11

12 ヌル

13 「ふふ、パンパンするのやめて、膣奥パリパリ責めちやうしゅう♡

14 ぬちゅ、ぬちゅ、ぬちゅ、ぬちゅ、ぬちゅ♡

15 お、お、お、おーって♡」

16

17 グチュ

18 「腰を押し付けて膣奥責め…おまんこの中をコリコリやれてるみたいな感じかなあ♡

19 えのいねえ♡」

20

21 ヌル

22 「いの子、一応女の子なんだけどなあ♡

23 君をメス堕ちさせたくて必死に頑張ってるの♡

24 可愛いなあ♡」

25

26 グチュ

27 「んつんつんつんつんつおつおつおつおつおつ♡

28 こんな感じで喘いじやつてるのかなあ♡

29 つふう♡つふう♡つふう♡つて」

30

31 ヌル

32 「吸盤みたいに張り付いてる♡

33 耳まんこしゅきしゅきーつてしながら、膣奥まで触手チンポ入ってる♡

34 えのいねえ♡」

35

36 □触手を出し入れ(かなり早く)

- 1 グチヨ
2 「あ…すい、急に早くなつてきただあ♡
3 ん、ん、ん、ん、ぬちゅぬちゅぬちゅぬちゅ
4 お、お、お、おーーー♡」
5
6 ヌル
7 「ほおのトントンタくん、お耳あんりにぱゅぱゅしたよねえ♡」
8
9 グチヨ
10 「じのくのじらの媚薬ザーメン発射しちやおつかあ♡
11 いりはお耳だから、絶対妊娠しないよお♡」
12
13 ヌル
14 「んおお…こきなり早く動かされるの…しゃもじ♡
15 やめやめ、気持ち良すぎて息が乱れちやいそう…♡
16 一旦呼吸を整えて… ひゅーーー♡ ひゅーーー♡ ひゅーーー♡ ひゅーーー♡
17
18 グチヨ
19 「ふーーー♡ ふーーー♡ ふーーー♡ ふーーー♡
20 呼吸整えるからあ…トントンタくん、わよひよ待ひ…。
21 あああん…ダメえ…急にわれた…」
22
23 ヌル
24 「ふーーー♡ ふーーー♡ ふーーー♡ ふーーー♡
25 んのぐつう♡、いきなり本気チンポきいちやあ…くすぐり…。
26
27 □触手止めん
28
29 ヌル
30 「ふ…なんで止めるの♡
31 んはああ、急に止めないで…ダメ
32 焦ひすのダメえ♡」
33
34 グチヨ
35 「へやへや…なんてね♡」
36

- 1 ⑥触手パート(お尻)
- 2 □触手が入る音(尻)「ちゅ~ふ~う~う~」
- 3 4
- 5 ヌル
- 6 「んああ♡ つぐうう♡ ふふ...お尻の奥まで入ってきたあ♡」
- 7
- 8 グチユ
- 9 「くすくす...お尻ヒクヒクしちゃいそう♡
- 10 「いきなりおま○り侵されちやつてるねえ~」
- 11
- 12 □触手が前立腺をゆづくり突く音「ちゅ~ふわ~ふわ~」
- 13
- 14 ヌル
- 15 「こ)のまま前立腺を~♡
- 16 「ちゅ~ふ...ちゅ~ふ~て...あーん♡ねち~い)く笑いてきたあ♡」
- 17
- 18 グチユ
- 19 「んああ♡お尻まんこ)のG スポットに、ちゅ~ふちゅ~ふ当たつて~る。
- 20 「じくじくした快感きらやう...す(?)ほ♡」
- 21
- 22 ヌル
- 23 「くすくす...触手チンポでお尻をいじめられるの~」
- 24 「ぬるぬるした優しい感触でおまんこ侵されちやう~」
- 25
- 26 グチユ
- 27 「こ)のまま前立腺をゆづくり押し込むと~♪」
- 28
- 29 ヌル
- 30 「んうううううおお♡す(?)」、「じくじくしちゃうよね...くすくす。」
- 31
- 32 グチユ
- 33 「じくじくした快感...お尻の中に溜まつてきちやうよね...くすくす。」
- 34 「女の子みたいな...おまんこみたいな性感」
- 35
- 36

- 1 ヌル
- 2 「くすりゅーへとびつたりくつへてえ♡
- 3 前立腺をベロチューしかやえ♡」
- 4
- 5 □えぐい音で触手責めされる
- 6 ヌル
- 7 「あ…だめえ…子宮ちゅぱちゅぱされるのだめえ♡
- 8 んああ…ダメ♡膣奥入りてくるの…ダメ♡」
- 9
- 10 グチユ
- 11 「んうう♡ダメ♡ほんといれ弱いからあ♡んつぐううう♡つほおお♡
- 12 「れしゅばりよお♡…くすくす」
- 13
- 14 ヌル
- 15 「メス堕ちスポットをいんいんいん♡
- 16 「えつひーい触手でちゅぱちゅぱつづつされややうと…女の子になつちやうよお♡」
- 17
- 18 グチユ
- 19 「ん、ん、んはあ♡お股の内側ジンジン温まつてきちやう♡」
- 20
- 21 ヌル
- 22 「くすくす…もう触手で刺激しなくても、自らお尻ヒクヒクさせちやつてる♡
- 23 好きなんだねえ♡」
- 24
- 25 グチユ
- 26 「くす、腰がくねくねしちゃいそう♡
- 27 「ほんとにおまんこみたい♡」
- 28
- 29 ヌル
- 30 「ぐにゅ…くすくす…ぐにゅぐにゅつて、中の気持ちいいのに当たつてるよお~」
- 31 ロリロリした前立腺…このを押すたびに全身ビクン・ビクン…つて、女の子みたい~」
- 32
- 33 グチユ
- 34 「もう認めちやつていいと思うよお?」
- 35 君は男の子じやなくて、お尻まんこで感じちやうメスなの~」
- 36

- 1 ヌル
「もう自分のこと、女の子だって認めてもいいかもね。」
- 2 ヌル
「そう、君の体はオスだけど、メスのように感じられるドスケベボディなの。」
- 3 ヌル
「素直に女の子になつちやえ。」
- 4 グチユ
「男なのにお尻犯されて、ぶんぶん感度が高まっていくの」
- 5 グチユ
「だつて君はメスなんだから、お尻の奥をコソコソするよ。」
- 6 ヌル
「あ、あ、あ、んうう…どんどん溜まつてきちゃう。」
- 7 ヌル
「お股の内側からジンジン疼いちやうよね。」
- 8 ヌル
「甘~い痺れがきちゃう♡」
- 9 ヌル
「甘~い痺れがきちゃう♡」
- 10 グチユ
「だつて君はメスなんだから、お尻の奥をコソコソするよ。」
- 11 グチユ
「前立腺をツンツン♡…ちゅぶちゅぶ♡」
- 12 ヌル
「君の心は女の子…やらしくてスケベなメスなの。」
- 13 ヌル
「君はメスだから、くわ…きちゃうよね♡…いぐいぐいぐい…うん♡つて。」
- 14 ヌル
「何回でも連続絶頂できるの♡」
- 15 ヌル
「なんつーか自分から追い求めるんじやなく、自然と快感に襲われる感じ。」
- 16 ヌル
「だから、「くわ」の「くわ」よりも「くる」感じだよ」
- 17 グチユ
「まあどつちでもいいよね。」
- 18 グチユ
「せつかくメスになれたんだから、連続でいぐいぐしちやおつかあ♡」

- 1 ヌル
2 「あーあ♡全身がどろりどろに溶けちゃうかも♡」
3 でも大丈夫♡」
4
5 グチュ
6 「気持ち良すぎてお尻をぎゅぎゅしても、耳がビクビクしても大丈夫…♡」
7 だつて君はメスなんだから…気持ち良くなるのが大好きなメスなの♡」
8
9 ヌル
10 「呼吸を整えて、アナルを引き締めるとね…」
11
12 グチュ
13 「前立腺が圧迫されてえ♡」
14 「膣奥ぬぼぬぼされちゃうの♡」
15
16 ヌル
17 「お尻まんこ締められて、触手チンポが逃げられなくなるの♡」
18
19 グチュ
20 「ほら、えちゅえちゅじゅじゅ…あ、あ、あ、んああ…すつい」
21
22 ヌル
23 「んはあ…じくじく止まらない…前立腺ぬちゅぬちゅされるのしゅきー♡」
24
25 ◇耳奥舐め(高速で舌を動かすような表現)
26
27 グチュ
28 「くす、お耳ま。」もぐロで刺激されてくよ♡
29 脳舐めメスイキ絶頂に向かって、セーの」
30
31 ◇耳を咥えながら→「しゅきー♡」
32
33 ヌル/グチュ
34 「はあああむ、んむううう。
35 しゅきー…ぐばぐばぐば…お耳まんこしゅきー…ぐばぐばぐば…れつておれ
36 のいるおれのいるおれのいるお…えれれ、えれれ…じゅううううううううは

- 1 ヌル
- 2 「可愛い女の子に擬態して、君の全身をぐるぐるに溶かしていく... 魅しい女の子」
- 3
- 4 グチュ
- 5 「くすくす... 君好みの見た目をしたスケベな女の子」
- 6
- 7 ヌル
- 8 「ぐわや... ぐわやあつて全身にまとわりついでる」
- 9
- 10 グチュ
- 11 「あ... もわやつ... おわんぱの先端... 女の子のクリまで侵されちゃつ...♡」
- 12
- 13 ヌル
- 14 「くわくわ... 全身をおまんこの中ぐわくわくわくわく...」
- 15
- 16 グチュ
- 17 「ぬほぬほぬほ... ぐわくわくわくわく...」
- 18
- 19 ヌル
- 20 「ぐわやぐわや、ぐわやああああ... えつるーー快感がおまんこに響いたらやつ」
- 21
- 22 グチュ
- 23 「ぐわやぐわや、ぐわやぐわや... ぐわやあああ...」
- 24 下半身にジクジク響くもうなえのーい音」
- 25
- 26 ヌル
- 27 「んううう... はああ... 全身のぬめりが糸を引いて、ぐわやぐわややのーい音に襲われちゃう♡」
- 28
- 29
- 30 グチュ
- 31 「ふわふわ... はああ... らにやるにや溶けぬような快感に襲われちゃつ」
- 32
- 33 ヌル
- 34 「触手ナル、脳舐め、スライム...」
- 35 一気に全身侵されたらあ... メスのはしたなーい本気アクメがきちゃつ♡」
- 36

- 1 グチユ
2 「やべしい女の部分を侵されて、おまんこ専用のメスみたいに扱われた… やなぐら…」
3
4 ヌル
5 「あ、あ、あ、ん…はあああ… ぐくっぐくっ♥」
6 スケベな喘ぎを漏らしながら、はしたなーく腰を震わせて、メスイキきめちやうの♥
7
8 グチユ
9 「頭真っ白になつて、ドスケベな絶頂がきらやうやう」
10
11 グチユ
12 「つよい痺れが前立腺へとジクジク流れ落ちてくわ」
13
14 ヌル
15 「あ、あ、あ、だめえ…もう許してえつて…メスおまんこが反応しちゃう」
16
17 グチユ
18 「でも許してくれない、ほんとはもう高嶺の場所へ行きたい」
19
20 ヌル
21 「メスの本気アクメを知りたいもんね。」
22 「くすぐす」
23
24 グチユ
25 「スケベな水音が脳内まで響いて、全身が溶かされるような快感」
26
27 ヌル
28 「もつと激しく、淫らなメスの快感を知りたいかな」
29
30 グチユ
31 「今なら感じられるよ、本気のメスイキ絶頂」
32
33 ヌル
34 「ほひ、全身に這い寄るぐわゆぐわゆ感が強まって…」
35
36

- 1 グチユ
2 「ぬるぬるしたものが全身に入ってくるかのように、ぐわ やぐわ や匂われへ」
3
4 ロスライム娘(ぐつちやぐつちやにされる音)
5 →下半身から胸の位置にまとわりつく
6
7 ヌル
8 「ああ…だめ、溶かされちゃう…男の子についてるモノが溶かされちゃう…ぐちゅぐちゅ
9 ぐちゅぐちゅ」
10
11 グチユ
12 「んああ…だめだめだめ…」れしゅう…おほ…んうう…はあ。
13 お尻の奥に、おまんこのような快感がズキズキ疼いてくる」
14
15 ヌル
16 「お股にあるモノ…男のモノがないような感覚…飲み込まれていく快感…」
17
18 グチユ
19 「まるで、あるはずのないメス穴を意識させられて、子宮の位置がずきゅん、ずきゅんつ
20 て、疼いてくる」
21
22 ヌル
23 「ジクジク、甘くて淫らな快感が、中を刺激していく」
24
25 グチユ
26 「メス穴にある丸い広がりに、ジクジク快感が溜まつてく」
27
28 ヌル
29 「ほら…んはあ…とろけるようなメスの性感が、じゅわじゅわ…って弾けてきちゃう」
30
31 グチユ
32 「お尻の奥も、おまんこ奥も、甘い痺れにジクジク迫こやられる」
33
34 ヌル
35 「メス穴を同時に責められて、はしたなくアクメをきめちゃうメスの姿…あ、あ、あ、ん
36 うううう…」

- 1 グチユ
2 「喜んで淫らな表情を浮かべる、やんしゃースケベな女」
3
4 ヌル
5 「2穴を責められて、はしたない顔で下品に喘ぎ狂うメスの姿」
6
7 グチユ
8 「ね、もう誰のいとか分かってるよね…。
9 メスを自覚しかやつたもんね」
10
11 ヌル
12 「もう、君はメスの性感を知っている。
13 体の中で眠っていた女の快感」
14
15 グチユ
16 「メスに堕ちていく快楽を知っている。
17 それを呼び覚ましていくだけ…」
18
19 ヌル
20 「ただただ、メスの快楽に身を包まれるだけ。もう他のいじは必要ないよね」
21
22 ヌル
23 「ベッタリと張り付いたぬめぬめした感触が、おまんこの中に入り込み…べつにやべりやに
24 侵していく」
25
26 グチユ
27 「おまんこの中で、メスの快感がべつたりと染み付いてくる。
28 あ、あ、あ…んううう…じくじくじくじく…」
29
30 ヌル
31 「じゅわーーーー、とんけるような快楽がおまんこを侵していく。
32 んうう…うぐう…うはああ…」
33
34 グチユ
35 「後ろの穴も責められて、にゅるにゅる前立腺を刺激される」
36

- 1 ヌル
- 2 「うねうね動くモノに、何度も何度もメスの弱い部分を刺激され、甘い疼きが止まらない」
- 3
- 4 グチュ
- 5 「下半身の中をぐわやぐわやに搔き回されていく…痺れるようなメスの疼きが膨らんでく
る」
- 6
- 7
- 8 ヌル
- 9 「メス穴を突かれるたびに、じくじくが響いたらやう」
- 10
- 11 グチュ
- 12 「中にある快感の風船が膨らんでくる。
- 13 「すきゅん、すきゅん、すき、すき。
- 14 「あ、あ、あ、すいへんや…耳くこあたひ、こあたひよお…」
- 15
- 16 グチュ
- 17 「少しずつ膨らんで、優しく弾けて、一気に気持ちいいのが飛んでくる」
- 18
- 19 ヌル
- 20 「まだ小さじから、どんどん膨らんでいける」
- 21
- 22 グチュ
- 23 「メス穴の疼きがくねたびに、頭もふくらみに溶けてきちゃう」
- 24
- 25 ヌル
- 26 「」のまゝ、3 つ田のメス穴も侵されでこく
- 27
- 28 グチュ
- 29 「あ、だめ…んうう…むつゝれ以上はだめえ…おかしくなつやう…」
- 30
- 31 ヌル/グチュ
- 32 「はああああお…ぐはぐはぐはぐは…ぐは…ぐは…ぐは…ぐは…ぐは…
- 33 「ぐははねねねねねね…」
- 34
- 35 ヌル
- 36 「全身から脳内へと響き渡る淫らな音が、メス穴を刺激する」

- 1 グチユ
- 2 「ぬるぬるぬるぬる…ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ…耳から響き渡る激しい水音」
- 3
- 4 ヌル
- 5 「ぬめぬめしたモノに全身を覆われ、ぬるぬる動くモノに中を刺激され、穴という穴を侵される音」
- 6
- 7
- 8 ヌル
- 9 「メスになつたばかりのあなたには強すぎる快樂」
- 10
- 11 グチユ
- 12 「もう我慢できない…絶頂を迎えていたい…迎えていたいよね」
- 13
- 14 ヌル
- 15 「ふふよ、」のままメスイキに達しちゃねうね」
- 16
- 17 メス堕ち達成シーン
- 18
- 19 グチユ
- 20 「メスの性感が溜まりきる、じうなつちやうのかな」
- 21
- 22 ヌル
- 23 「んふふ…んつん…」の気持ち良さが高まるもん」
- 24
- 25 グチユ
- 26 「下半身をガクガク震わせて、メスイキしちゃうの」
- 27
- 28 ヌル
- 29 「お腹、お尻、腰全体の筋肉がビクビク痙攣してあわやつ…」
- 30
- 31 グチユ
- 32 「天井に向かってビクビク跳ねちゃう」
- 33
- 34 ヌル
- 35 「びっくーん…って、一気に快感が高まって絶頂を迎えるの」
- 36

- 1 グチユ
2 「そ、うして絶頂を迎えると、あまあまな痺れ、ジワジワした快感だけが残っていく」
3
4 ヌル
5 「5、おまんこねぼねぼされる度に、メスのあまーい快感がやつてく。」
6 下半身全体から、メスの快感が広がつてくる」
7
8 グチユ
9 「んはあ…だめ、きちゃやう…中が痺れちゃう。腰全体がガクガクしかやいやう」
10
11 ヌル
12 「4、下半身がムズムズしてきちゃう。」
13 全身をぐつちよぐちよに溶かされるような快感」
14
15 グチユ
16 「甘くて淫らな快感で腰が震えてくる。」
17 メスイキへの期待感で、ムズムズした感覚が止まらない」
18
19 ヌル
20 「3、メスの性感で喘ぐ自分を想像する。」
21 「ん、ぐ、う、う…んはあ…もうだめ…い、ぐ…い、ぐ、い、ぐ、う、う…んはああ。」
22 「つて…情けなく喘ぎ狂うメスの姿」
23
24 グチユ
25 「全身を溶かされ、メス穴を侵され、スケベな脳汁が溢れ出でているメスの顔。」
26 「白目を剥いで、ぐロを出して、情けないHロ顔晒しちゃう」
27
28 ヌル
29 「顔全体が脱力して、涎を垂らしたまま、びく…びくびくびく…腰を震わせている」
30 「エロい女」
31
32 グチユ
33 「想像すればするほど、メスの快感が体に染み付いて、腰がガクガクしてくる」
34
35
36

- | | | |
|----|----|--|
| 1 | 2 | 「2、メスの快感がずきゅんずきゅんって、下半身の内側から響き渡る」 |
| 2 | 3 | 「イキたいと思えば思っぽい、お尻から腰く、腰から腹筋く…」クビク動いてくる」 |
| 3 | 4 | 「メス穴の中で溜まりきった快感が解放されそう。 |
| 4 | 5 | 甘くて気持ちい痺れで、下半身全体がガクガク震えてきたやつ」 |
| 5 | 6 | 「もう少しで気持ちいのがやつやつ」 |
| 6 | 7 | 「もう少しで気持ちいのがやつやつ」 |
| 7 | 8 | 「メス穴の中で溜まりきった快感が解放されそう。 |
| 8 | 9 | 甘くて気持ちい痺れで、下半身全体がガクガク震えてきたやつ」 |
| 9 | 10 | 「メス穴の中で溜まりきった快感が解放されそう。 |
| 10 | 11 | 「もう少しで気持ちいのがやつやつ」 |
| 11 | 12 | 「もう少しで気持ちいのがやつやつ」 |
| 12 | 13 | 「1、淫らな快感でメスに堕ちていく。 |
| 13 | 14 | 全身が溶けるように脱力して、おまんこのような性感にズキズキ襲われる」 |
| 14 | 15 | 「1、淫らな快感でメスに堕ちていく。 |
| 15 | 16 | 全身が溶けるように脱力して、おまんこのような性感にズキズキ襲われる」 |
| 16 | 17 | 「1、淫らな快感でメスに堕ちていく。 |
| 17 | 18 | 全身が溶けるように脱力して、おまんこのような性感にズキズキ襲われる」 |
| 18 | 19 | 「メス穴が快感に襲われて、ガクガク震えてきたやつ。 |
| 19 | 20 | あ、だめ…あわやつ。 |
| 20 | 21 | メスの快感がジクジク上がつてくね」 |
| 21 | 22 | 「あ、あ、あ、気持ちい、気持ちいよおひて、メスのおまんこ性感に襲われる」 |
| 22 | 23 | 「あ、あ、あ、気持ちい、気持ちいよおひて、メスのおまんこ性感に襲われる」 |
| 23 | 24 | 「下半身から上がつてくね…おまんこおまんこで絶頂するような快感」 |
| 24 | 25 | 「下半身から上がつてくね…おまんこおまんこで絶頂するような快感」 |
| 25 | 26 | 「下半身から上がつてくね…おまんこおまんこで絶頂するような快感」 |
| 26 | 27 | 「下半身から上がつてくね…おまんこおまんこで絶頂するような快感」 |
| 27 | 28 | 「下半身から上がつてくね…おまんこおまんこで絶頂するような快感」 |
| 28 | 29 | 「下半身から上がつてくね…おまんこおまんこで絶頂するような快感」 |
| 29 | 30 | 「0、お腹、お尻、腰全体の筋肉がビクビク痙攣してきちゃう…」 |
| 30 | 31 | 「んはあああ…だめだめだめ…」やうがのあ…こぐ…こぐこぐこぐ…こぐはいん… |
| 31 | 32 | 「ほおおお…」 |
| 32 | 33 | 「んはあああ…だめだめだめ…」やうがのあ…こぐ…こぐこぐこぐ…こぐはいん… |
| 33 | 34 | 「ほおおお…」 |
| 34 | 35 | 「ほおおお…」 |
| 35 | 36 | 「ほおおお…」 |
| 36 | | |

- 1 ヌル
2 「天井に向かってビクビク跳ねちゃう。
3 びくーーんーーー、一気に快感が高まって絶頂を迎える」
4
5 グチュ
6 「ああ…ぐぐぐ…わう…ううやうよお…うううやうがう…ぐぐぐぐぐ…ううお
7 おお…んねお…ーーー」
8
9 ヌル
10 「あーー、気持ちい、ジクジク気持ちいよおお意識しなくとも下半身が震えてくわ」
11
12 グチュ
13 「下半身が…ガタガタガタガタ、ガタガタガタガタつて震えて、最後の最後には」
14
15 ヌル
16 「びくーーんつて、下半身を天井に突き出すようにオーガズムを迎える」
17
18 グチュ
19 「脳みそがじろじろに溶けちゃう、ああーー快感が止まらない」
20
21 ヌル
22 「白い光が見えて、一瞬意識が曖昧になる。
23 気持ち良くて気持ち良くて、あ、あ、あ、んはあああ…んううう…」
24
25 グチュ
26 「メスの悦びに全身を支配されて、脳みそまどろくのうのうわわわ」
27
28 ヌル
29 「溶かされて溶かされて、メスの性感に馴染んでいく」
30
31 グチュ
32 「女の子のよくな体つき…ほんとうにチラシとしたスケベな女体。
33 凹凸のある美しい女体が、かくかく動いて感じている姿」
34
35
36

- 1 ヌル
2 「そ、うだね。
3 やなこいもあらぬ世の中だ、1人でも多くの人が穏やかな気持ちで過(は)せたらいいよね」
4
5 グチョ
6 「いや、そもそも寝てる中で勝手に拉致したやつが何言つてんだか…ふーくすくす」
7
8 ヌル
9 「もう…でも私達ペロリストの使命はそんな感じでしょー？」
10
11 グチョ
12 「ほんと、世間知らずのやつだよね。
13 まあ、これがペロリスト姉妹流のおもてなししてやつかな。
14 リの世界の基準だと、至つてクレイジーだけどね」
15
16 ヌル
17 「まあ、狂つてもいいじゃん♡
18 快楽は救いにならぬ」
19
20 グチョ
21 「ぶつちやけ、快楽は毒にも薬にもなるよね」
22
23 ヌル
24 「へーん、じゆいん？」
25
26 グチョ
27 「自分がコノクロールで死てるかどうか、依存してない限りは、生きる喜びにもなるかな
ーつひー」
28
29
30 ヌル
31 「まあ、使い方次第で」とかあ」
32
33 グチョ
34 「そ、まあペロリストのやり方は、リの世界では邪道(じやうどう)のしごたみ…くすくす」
35
36

- 1 ヌル
2 「氣持ち良ければそれで良し。
3 そういう感じだもんねー、私達」
4
5 グチュ
6 「へいりと、そろそろ眠くなつてきたかなあ」
7
8 ヌル
9 「えいどもい話聞かされるし、眠くなつたらやうよね」
10
11 グチュ
12 「それじやあ…また会おうかー」
13
14 ヌル
15 「君が望めばまた現れる…『レペシーミたいなやつで伝わるかん♡』」
16
17 グチュ
18 「そ、メスの快樂を知りたくなつたら、また拉致しちゃうかんねー♡」
19
20 ヌル/グチュ
21 「それじやあ、ばいばーい♡」
22
23 ヌル
24 「へい、やへぱり寝れへんわー」
25
26 グチュ
27 「うーん、寝れないかあ」
28
29 ヌル
30 「それじやあ目を覚ますために、0から10まで数えまーす」
31
32 グチュ
33 「ほーい、スッキリと目を覚ましね」
34
35
36

- 1 ヌル
2 「0、ストレッチで体を伸ばしていく。
3 両足をゆくべく広げて…床にぐつぐつさせよう」
4
5 グチユ
6 「1、肩に力を脱力させた後、力を入れていいく」
7
8 ヌル
9 「2、顔全体を意識して、少しずつ力が戻っていく」
10
11 グチユ
12 「3、体の背面を意識して、床にぐつぐつけねよう」
13
14 ヌル
15 「4、胸の鼓動を意識する」
16
17 グチユ
18 「5、お腹が膨らみ縮むのを意識する」
19
20 ヌル
21 「6、胸じやなくて、お腹から呼吸をすく」
22
23 グチユ
24 「7、一回息を吐き切って…ゆくべく息を吸う」
25
26 ヌル
27 「8、お腹が膨らんでいくのを感じる。
28 その状態を少し保つ」
29
30 グチユ
31 「9、お腹にある風船が縮んでいくようなイメージで、息を吐き切る」
32
33 ヌル
34 「10、全身にゆくべく、ぎゅうぎゅう力を入れていいく」
35
36

- 1 グチュ
2 「はーい、おはよ」
3
4 ヌル
5 「両手を上げて、ゆのぐりと体をいのいの転がしたり、体を馴染ませてから起しゃうね」
6
7 グチュ
8 「立ちあぐのみじせ風をつけなよー。」
9 体を急激に起しゃるのは危ないからね」
10
11 ヌル
12 「はーい、それじやあゆのぐり田を覚ましゃえ、今度いじややむらな心ー。」
13
14 グチュ
15 「今かの異世界に転送しまーす」
16
17 □テレポートする
18
19 ヌル/グチュ
20 「みょーーーん、やこだらーーー」